

医師らを側面支援

DAM 広島に調整員養成機関

国際医療ボランティア団(市橋津)は四日、災害・紛争などの被災地で、緊急

「21世紀の国際医療」



AMDA国際協力調整員訓練センターの開設を記念したオープニングセレモニー＝広島市安佐北区

救援活動の体制づくりに当たると調整員の養成機関「国際協力調整員訓練センター」を広島市内に開設した。

同市安佐北区の広島文教女子大で行われたオープニングセレモニーには、約百五十人が参加。先月二十九日の集中豪雨による犠牲者に全員で黙とうをさげた後、同センター所長の菅波茂AMD A代表が「調整員の働きで、いかに多くの人を助けられるかが決まる。海外だけでなく、国内でも成果を出していきたい」とあいさつした。

続いて、同センター事務局長の関台武司広島国際学院大講師は、同市内の豪雨被災者の医療・生活ニーズ調査結果を紹介。「二

される調整員像」と題したシンポジウムなどもあった。

調整員は現地での交渉や医薬品・通信手段の確保、情報収集など、医師たちの活動を側面から支援するボランティア。同センターは自前の事務所を持たず、大

学などを活用して語学、通信技術、野外医療といった講座(受講料実費)を開き、調整員を育成する。

問い合わせは〒739-0323、広島市安芸区中野東一ノ三四ノ一二、同センター事務局(ファクス082-893-0710)。